令和4年7月期(令和4年1月17日~令和4年7月16日)決算短信

令和 4年 8月 24日

上場取引所 東証

ファンド名 MAXIS JPX 日経中小型株指数上場投信

コード番号 1492

連動対象指標 JPX 日経中小型株指数

主要投資資產 株式 売買単位 1 口

管理会社 三菱UF J 国際投信株式会社 <u>URL https://www.am.mufg.jp/</u>

代表者名 取締役社長 横川 直

問合せ先責任者 商品ディスクロージャー部 笠間 悦男 TEL (03)6250-4910

I ファンドの運用状況

1. 令和4年7月期の運用状況(令和4年1月17日~令和4年7月16日)

(1) 資産内訳 (百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の (負債控除後)	り資産	合計 (純資産)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
令和4年7月期	3, 223	(98.8)	37	(1.2)	3, 261	(100.0)
令和4年1月期	4, 672	(99. 2)	39	(0.8)	4,712	(100.0)

(2) 設定・交換実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	交換口数(③)	当計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
	千口	千口	千口	千口
令和4年7月期	294	_	75	219
令和4年1月期	301	59	67	294

(3) 基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	1 口当たり基準価額 (③/当計算期間末発行済口数)
	百万円	百万円	百万円	н
令和4年7月期	3, 323	62	3, 261	14, 886
令和4年1月期	4, 760	48	4,712	16, 019

(4) 分配金

	1口当たり分配金
	н
令和4年7月期	223
令和4年1月期	111

2. 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更

無

② ①以外の変更

無

Ⅱ 財務諸表等

(1)【貸借対照表】

		(単位:円)
	第 10 期 [令和 4年 1 月 16 日現在]	第 11 期 [令和 4年 7月 16 日現在]
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	59, 572, 941	74, 917, 064
株式	4, 672, 768, 000	3, 223, 186, 100
派生商品評価勘定	358, 900	_
未収入金	12, 269, 270	12, 206, 300
未収配当金	13, 637, 985	7, 968, 550
前払金	-	2, 360, 000
差入委託証拠金	2, 340, 000	3, 180, 000
流動資産合計	4, 760, 947, 096	3, 323, 818, 014
資産合計	4, 760, 947, 096	3, 323, 818, 014
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	_	1, 181, 100
前受金	1, 245, 000	_
未払金	_	1, 162, 200
未払収益分配金	32, 652, 315	48, 851, 272
未払受託者報酬	1, 039, 317	809, 703
未払委託者報酬	11, 952, 057	9, 311, 462
未払利息	43	60
その他未払費用	1, 788, 654	1, 490, 901
流動負債合計	48, 677, 386	62, 806, 698
負債合計	48, 677, 386	62, 806, 698
純資産の部		
元本等		
元本	3, 622, 641, 975	2, 697, 773, 160
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金(△)	1, 089, 627, 735	563, 238, 156
(分配準備積立金)	224, 687	8, 591
元本等合計	4, 712, 269, 710	3, 261, 011, 316
純資産合計	4, 712, 269, 710	3, 261, 011, 316
負債純資産合計	4, 760, 947, 096	3, 323, 818, 014

(2)【損益及び剰余金計算書】

				(単位:円)
	自至	第 10 期 令和 3 年 7 月 17 日 令和 4 年 1 月 16 日	自至	第11期 令和4年1月17日 令和4年7月16日
営業収益				
受取配当金		47, 426, 348		60, 284, 683
受取利息		149		42
有価証券売買等損益		△230, 381, 973		△364, 061, 198
派生商品取引等損益		911, 850		△2, 752, 800
その他収益		1, 247		610
営業収益合計		△182, 042, 379		△306, 528, 663
営業費用		•		
支払利息		6, 061		3, 462
受託者報酬		1, 039, 317		809, 703
委託者報酬		11, 952, 057		9, 311, 462
その他費用		1, 826, 381		1, 525, 532
営業費用合計		14, 823, 816		11, 650, 159
営業利益又は営業損失 (△)		$\triangle 196, 866, 195$		△318, 178, 822
経常利益又は経常損失 (△)		△196, 866, 195		△318, 178, 822
当期純利益又は当期純損失 (△)		△196, 866, 195		△318, 178, 822
一部交換に伴う当期純利益金額の分配額又は一部交換に伴う当期純損失金額の分配額(△)		-		_
期首剰余金又は期首欠損金 (△)		1, 306, 785, 028		1, 089, 627, 735
剰余金増加額又は欠損金減少額		304, 104, 517		-
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減 少額		304, 104, 517		-
剰余金減少額又は欠損金増加額		291, 743, 300		159, 359, 485
当期一部交換に伴う剰余金減少額又は欠損金増 加額		291, 743, 300		159, 359, 485
分配金		32, 652, 315		48, 851, 272
期末剰余金又は期末欠損金(△)		1, 089, 627, 735		563, 238, 156

(3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取
	引所等における終値で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価	先物取引は金融商品取引所等における清算値段で評価しております。
方法	

(重要な会計上の見積りに関する注記)

財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが翌計算期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。

(貸借対照表に関する注記)

		第 10 期	第 11 期
		[令和 4年 1月 16 日現在]	[令和 4年 7月 16 日現在]
1.	期首元本額	3, 711, 642, 480 円	3, 622, 641, 975 円
	期中追加設定元本額	738, 813, 795 円	—円
	期中一部交換元本額	827, 814, 300 円	924, 868, 815 円
2.	受益権の総数	294, 165 □	219, 064 □

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

自 令和 3	第 10 期 自 令和 3 年 7 月 17 日 至 令和 4 年 1 月 16 日		第 11 期 自 令和 4年 1月 17 日 至 令和 4年 7月 16 日			
1. その他費用			1.	その他費用		
上場費用および商標使用料	等を含んでおり	ます。		上場費用および商標使用料	等を含んでおり	ます。
2.分配金の計算過程			2.	分配金の計算過程		
項目				項目		
当期配当等収益額	A	47, 421, 683 円		当期配当等収益額	A	60, 281, 873 円
分配準備積立金額	В	273, 074 円		分配準備積立金額	В	224, 687 円
配当等収益合計額	C=A+B	47, 694, 757 円		配当等収益合計額	C=A+B	60, 506, 560 円
経費	D	14,817,755円		経費	D	11,646,697 円
当ファンドの分配対象収益額	E=C-D	32, 877, 002 円		当ファンドの分配対象収益額	E=C-D	48, 859, 863 円
収益分配金金額	F	32, 652, 315 円		収益分配金金額	F	48,851,272 円
次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	224, 687 円		次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	8,591 円
当ファンドの期末残存口数	Н	294, 165 □		当ファンドの期末残存口数	Н	219, 064 □
1 口当たり分配金額	I=F/H	111円		1 口当たり分配金額	I=F/H	223 円

(金融商品に関する注記)

1 金融商品の状況に関する事項

	第10期	第 11 期
区分	自 令和 3年 7月 17日	自 令和 4年 1月 17日
	至 令和 4年 1月 16日	至 令和 4年 7月 16日
	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」(昭和 26 年法律第 198 号)第 2 条第 4 項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
係るリスク	当ファンドは、株式に投資しております。 当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性	同左

MAXIS JPX 日経中小型株指数上場投信(1492)令和4年7月期決算短信

リスクに晒されております。 当ファンドは、運用の効率化を図るために、株価指数先物取引を利用しております。当該デリバティブ取引は、価格変動リスク等の市場リスクおよび信用リスク等を有しております。 また、デリバティブ取引の時価等に関する事項についての契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な

契約額または計算上の想定元本であり、 当該金額自体がデリバティブ取引のリス

3. 金融商品に係るリスク管理体制

クの大きさを示すものではありません。 ファンドのコンセプトに応じて、適切 にコントロールするため、委託会社で は、運用部門において、ファンドに含ま れる各種投資リスクを常時把握しつつ、 ファンドのコンセプトに沿ったリスクの 範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部 署によりリスク運営状況のモニタリング 等のリスク管理を行っており、この結果 は運用管理委員会等を通じて運用部門に フィードバックされます。

同左

2 金融商品の時価等に関する事項

2 並は同門へい 門子に対するする		
区分	第 10 期	第11期
区为	[令和 4年 1月 16 日現在]	[令和 4年 7月 16 日現在]
1.貸借対照表計上額、時価及びその差	時価で計上しているためその差額はあ	同左
額	りません。	
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券	(1) 有価証券
	売買目的有価証券は、(重要な会計方針	同左
	に係る事項に関する注記)に記載してお	
	ります。	
	(2) デリバティブ取引	(2) デリバティブ取引
	デリバティブ取引は、(デリバティブ取	同左
	引に関する注記)に記載しております。	
	(3) 上記以外の金融商品	(3) 上記以外の金融商品
	上記以外の金融商品(コールローン	同左
	等)は、短期間で決済され、時価は帳簿	
	価額と近似していることから、当該金融	
	商品の帳簿価額を時価としております。	
		同左
いての補足説明	の前提条件等を採用しているため、異な	
	る前提条件等によった場合、当該価額が	
	異なることもあります。	

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

14E VIC	第 10 期 [令和 4年 1月 16 日現在]	第 11 期 [令和 4 年 7 月 16 日現在]	
種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)	
株式	△194, 015, 360	△224, 548, 192	
合計	△194, 015, 360	△224, 548, 192	

取引の時価等に関する事項 株式関連

第10期[令和4年1月16日現在]

区分	種類	契約額等(円)		時価(円)	評価損益(円)
			うち1年超	1.4 lm (11)	H
市場取引	株価指数先物取引				
	買建	39, 280, 000	_	39, 640, 000	360, 000
	合計	39, 280, 000	_	39, 640, 000	360, 000

第11期[令和4年7月16日現在]

区分	種類	契約額等(円)	うち1年超	時価(円)	評価損益(円)
市場取引	株価指数先物取引				
	買建	38, 980, 000	_	37, 800, 000	△1, 180, 000
	合計	38, 980, 000	_	37, 800, 000	△1, 180, 000

(注) 時価の算定方法

- 2 先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
- 3 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

※上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	第 10 期 [令和 4年 1月 16 日現在]	第 11 期 [令和 4 年 7 月 16 日現在]	
1口当たり純資産額	16,019 円	14,886 円	